

別記様式 2

令和 6 年度 第 1 回 青森警察署協議会議事録		
開催日時	令和 6 年 6 月 26 日 (水) 午後 2 : 00 ~ 午後 3 : 20	
開催場所	青森警察署 4 階講堂	
出席	委員	会長以下 13 人
	警察署	署長以下 18 人
開催内容		
1	開会	
2	協議会会長挨拶	
3	警察署長挨拶	
4	委員・幹部自己紹介	
5	議事 青森警察署の体制、治安概況、各課の活動概況	
6	質疑応答等	
<p>児童虐待事案につき、警察で児童相談所へ連絡するまでの流れ、所要時間や連携方法について伺いたい。</p>		
<p>【回答】 児童虐待とは、保護者が 18 歳未満の児童に対して行う、「身体的虐待」「性的虐待」「ネグレクト」「心理的虐待」をいう。 警察では、あらゆる警察活動を通じて児童虐待事案の情報収集に努めており、事案を認知した際は、早急に児童の安全確認を実施するとともに、児童虐待が疑われる場合は、認知した当日から遅くとも数日以内に、主として電話により通告し、児童相談所に詳細な情報を提供している。</p>		
<p>保育施設前や公園前の横断歩道の白線が消えかかっている。道幅が狭い上に交通量も多いので危険に感じている。</p>		
<p>【回答】 横断歩道等の道路標示が摩耗している場所については、警察本部担当課に更新の要望をしているが、小学校周辺の通学路など重要性の高い場所から順次、更新が行われているため、場所によって時間をいただくこともあることをご理解いただきたい。 今後も、住民の方々の意見を踏まえ、随時本部担当課に更新要望していく。</p>		
<p>今年、近所で亡くなった方がいる。一人暮らしということで気にかけていた人もいたが、どこに相談してよいか分からなかったとのこと。 住民として、いつの時点でどこに何と言って相談したら良いか。</p>		
<p>【回答】 一般的に、地域の身近な相談窓口であれば、 社会福祉協議会（青森県、青森市、平内町） になると思われる。 また、市役所、役場にも相談窓口が設置されている。 内容については、「どこどこに住んでいる人が、一人暮らしをしているようだが、ちゃんとご飯を食べられているか心配。」などの、「ちょっとした気づき」の情報でもよいとのこと。</p>		

警察としても、他の行政機関と連携して対応しているので、お近くの交番・駐在所に相談してほしい。

本町地区の深夜等の路上駐車及びマナーの悪い客引き行為の取締等、本町浄化作戦を引き続きよろしくお願ひしたい。

【回答1】

駐車違反取締り件数は、
令和5年中は1,483件
令和6年中は555件（5月末現在）
うち本町周辺は82件
である。今後も、飲酒運転取締りと連動した駐車違反の取締りを行う。

【回答2】

青森市客引き防止条例違反によるこれまでの検挙は、
平成23年4月1日の条例施行後は、60人
今年に入ってから逮捕者は2人（本日現在）
となっているが、今後も取締りの強化を継続する。

若年者（未成年を含む）の大麻使用について現状と警察の対応について伺いたい。

【回答1】

大麻事犯検挙人員は、平成26年以降増加が続き、令和5年は全国で6,482人と過去最多となるとともに、統計を取り始めて以降、初めて大麻事犯の検挙人員が覚醒剤の検挙人員を上回った。
年齢層別では、10代・20代が全体の7割を超えるなど、若年層を中心とした大麻の乱用拡大が問題となっている。
今後の対策としては、乱用者の徹底検挙を図ることに加え、若年層を中心に、薬物の危険性について正しい知識を持たせ、違法薬物は絶対拒絶するという規範意識を向上させるため、各種広報啓発活動を推進していく。

【回答2】

若年層への対策として、各学校の依頼を受け、薬物乱用防止教室の講師に、主に生活安全課員（少年補導職員）を派遣しており、昨年は中学校1校、高等学校3校に対して実施している。
今年度も継続して実施していく。

全国的に高齢者によるアクセルとブレーキの踏み間違いによる事故が改めて増えているように感じる。
県内での同様の事故件数は年間どのくらいか。また、免許返納の平均年齢や、高齢家族等への返納を促すポイントなどあれば伺いたい。

【回答】

高齢者の踏み間違い事故であるが、令和5年中は、本県での高齢者の踏み間違いによる人身事故は認知していない。
県内の年齢別の運転免許証返納状況は、令和6年4月末現在で1,120人で、当署での申請取消件数は5月末までで73件となっており、年代は70から80歳代がもっとも多く、平均年齢は73.7歳となっている。
返納を促すポイントとしては、高齢者の方の身体的変化で、
・視野がせまくなった
・動作が鈍くなった
・物忘れが多くなった
・運転中、ヒヤッとすることが多くなった
・運転が危ないと言われる

・返納を促される
などがあれば考えてほしい。

警察では、老人クラブ等での講話や各種警察広報を通じて運転免許の自主返納を呼びかけているほか、各種事案取扱いを通じて認知症等の病気が疑われる方に対しては、運転相談や自主返納の呼びかけを継続していく。

最近、自動車速度違反取締装置が少なくなったような気がするが、現状はどうか。交通違反取締件数に目標はあるのか。反則金は何に使われているのか。

【回答】

ア 速度違反自動取締装置について

現在、可搬式速度違反自動取締装置の運用を推進しており、従来型取締機器による取締りの実施が困難であった通学路や生活道路等における速度違反取締りを実施している。

イ 交通指導取締りについて

交通指導取締りに目標件数はない。

事故発生状況の分析結果や交通取締り要望等に基づいて取締りの必要性が高い重点路線・地区を選定し、計画的に実施している。

ウ 反則金について

納付された反則金は、交通安全対策特別交付金として、交通信号機やガードレール等、道路における交通安全施設の設置と管理等に要する費用に充てられている。

青森田代十和田線の松元台団地入口の十字路の信号が点滅状態になった経緯等について伺いたい。

【回答】

経緯としては、まず令和4年度の松元台団地の交通診断時に当該交差点の交通量を調査した結果、交通量が少なかったことから信号撤去の候補に挙がった。

また、地区の方から、「点滅信号であれば、一時停止して安全を確認して行けるので賛成である」との意見があったことから、点滅運用開始に向け調査等を進めた。

昨年9月には、町会の回覧板に点滅信号切り替えに関するチラシを掲示依頼して点滅信号開始の広報を行い、同年11月29日から点滅運用を開始している。

7 報告事項

地域官から、「勝田交番の統廃合」について説明した。

8 連絡事項

- 選挙に関する留意事項
- 警察官採用活動

9 会長総括

10 閉会

【開催状況】

